

市議会だより

記事内容 ●4月・5月臨時会から…P 2

●会派構成……………P 4

●常任委員会等の構成……P 3

●新生「男鹿市議会」 37人の議員で発足●



就任あいさつ



男鹿市議会議長
杉本 博治

新男鹿市議会が三月二十二日に在任特
例期間の来年四月までの間、三十七人の
議員をもって新たなスタートをいたしま
した。

先般の四月臨時会（初議会）において
は、議会の皆様のご支援をいただき、私
が引き続き議会議長の責務を担うこと
になりました。その責任の重さを肝に銘じ、
懸命に努力を傾注してまいる所存であ
ります。

さて、地方分権社会の中、合併により
新「男鹿市」が誕生したわけでありま
すが、その合併理念に反することなく、「自
然・文化・食を大切にする観光交流都市」
の建設を基本として、広域的な視点にた
った新たなまちづくりを念頭に置き、旧
男鹿市と旧若美町の全市民が豊かな生活
を享受できるよう、我々議会も積極的に
その実現に向け取り組んでまいりたいと
考えております。

どうか市民の皆様のご理解とご協力を
心からお願い申し上げます。ごあいさ
ついたします。

新男鹿市誕生初の臨時会開催 新しい議会構成決まる

4月・5月 臨時会

新市発足後の初の議会が四月四日に招集され、正副議長及び常任委員会等の議会構成を決定するとともに、新市の条例及び各会計暫定予算の専決処分について原案のとおり承認しました。

また、五月十日に招集された臨時会では暫定補正予算、条例の一部改正の専決処分等のほか、助役、収入役、監査委員等の特別職の人事案件が提案され、いずれも原案のとおり、承認、可決、同意したほか、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙、議会広報特別委員会を設置し閉会しました。

議長に杉本博治氏 副議長に佐藤善市郎氏当選

四月四日開会の臨時会（初議会）では、開会後直ちに三七人の全議員による議長選挙が行われ、無記名投票の結果

杉本博治 二六票

無効投票（白票） 一一票

で杉本博治氏が当選し、初代議長に就任しました。

引き続き、副議長選挙を行い、無記名投票の結果

佐藤善市郎 二九票

無効投票（白票） 八票

で佐藤善市郎氏が当選し、初代副議長になりました。

この後、各常任委員会委員及

び議会運営委員会委員を選任し、それぞれの委員会で正副委員長が互選されたほか、消防、衛生処理、八郎湖周辺清掃及び大潟地区衛生処理の各一部事務組合議会議員の選挙並びに議会推薦の農業委員を推薦しました。

二日目は佐藤市長職務執行者から新市発足に伴う一九五件の条例の専決処分と平成十六年度及び平成十七年度の各会計の暫定予算の専決処分について原案のとおり承認し閉会しました。

助役・佐藤文衛氏
収入役・伊藤正孝氏
監査委員・加藤金一氏

五月十日の臨時会では市税条例の一部改正等の専決処分などを可決、承認したのち、当局から提案された助役、収入役等の選任案に同意したほか、教育委員会委員の任命及び固定資産評価審査委員会委員の選任についても同意しました。

●教育委員会委員

- 目黒 恵子氏
- 小松 一夫氏
- 佐藤 大輔氏
- 武内 庸氏
- 高橋 金一氏
- 湊 輝雄氏
- 八幡 春三氏
- 渡部 景信氏

●固定資産評価審査委員会委員

選出
監査委員に
畠山富勝氏

議会選出監査委員に当局から提案された畠山富勝氏を選任することに同意したほか、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が行われ次の方々が当選されました。

●選挙管理委員会委員

- 佐々木 悦氏
- 飯澤 信夫氏

●補充員（委員欠員の場合補充）

- 板橋 幸子氏
- 鈴木 善一郎氏
- 三浦 正美氏
- 杉本 和夫氏
- 江畑 重雄氏
- 西村 恵子氏

可決した 主な議案

四月臨時会

〈議員提出議案〉

- 市議会会議規則の制定
- 市議会委員会条例の制定
- 市議会事務局設置条例の制定

〈専決処分〉

- 市役所の位置を定める条例
- ほか百九十四件の条例

ほか三十件

五月臨時会

〈条例〉

- 市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例

〈専決処分〉

- 平成十六年度一般会計暫定補正予算（第一号）
- ほか四件

常任委員会等の構成

男鹿市議会だより 

創刊号 17.6.1

常任委員会等の構成

総務委員会

(定数13人)

◎ ○
 高野寛志 戸部幸晴 船木正博 佐藤善市郎 吉田清孝 船木重秋 船木重秋 船橋金弘 夏井清勝 三浦一朗 高桑國三 佐藤寿男 佐藤巳次郎

教育厚生委員会

(定数12人)

大淵與吉 鎌田清太郎 相澤哲夫 杉本博治 吉田清美

産業建設委員会

(定数12人)

◎ ○
 木元利明 中田俊雄 三浦利通 佐藤美子 安田健次郎 笹川圭光 竹村健一

◎ ○
 柳樂芳雄 畠山富勝 佐藤俊一 加藤春吉 吉田孝一郎 小松穂積 中田謙三 三浦悦朗 中田敏彦 大森勝美 古仲清紀 越後貞勝

議会運営委員会

(定数8人)

◎ ○
 柳樂芳雄 古仲清紀 佐藤美子 船木茂 中田謙三 竹村健一 小松穂積 吉田清孝

議会広報特別委員会

(定数8人)

◎ ○
 木元利明 笹川圭光 鎌田清太郎 畠山富勝 佐藤巳次郎 三浦一郎 船木重秋 大森勝美

◎ 委員長 ○ 副委員長

農業委員会委員

(議会推薦)

三浦悦朗 三浦利通

消防一部事務組合 議会議員

(定数17人・うち男鹿市11人)

大淵與吉 佐藤巳次郎 木元利明 三浦一郎 吉田孝一郎 越後貞勝 船木正博 柳樂芳雄 鎌田清太郎 竹村健一 高桑國三

衛生処理一部事務 組合議会議員

(定数14人・うち男鹿市10人)

夏井清勝 中田敏彦

八郎湖周辺清掃 事務組合議会議員

(定数14人・うち男鹿市6人)

中田俊雄 戸部幸晴 船木重秋 古仲清紀 船橋金弘 安田健次郎 佐藤美子 笹川圭光

大潟地区衛生処理 組合議会議員

(定数9人・うち男鹿市3人)

吉田清孝 佐藤寿男 船木茂 相澤哲夫 中田謙三 吉田清美

小松穂積 佐藤俊一 加藤春吉

会 派 構 成

(平成17年5月10日現在)

新 和 会 (15人)

会 長 佐藤寿男(本内)
副会長 鎌田清太郎(本内)
幹事長 中田謙三(松木沢)
事務局長 三浦利通(鵜木)

船橋金弘(福川)
竹村健一(払戸)
木元利明(払戸)
佐藤俊一(野石)
加藤春吉(野石)
戸部幸晴(払戸)
中田敏彦(福米沢)
大淵與吉(鵜木)
佐藤善市郎(角間崎)
船木重秋(払戸)
小松穂積(払戸)
三浦利通(鵜木)

翔 友 会 (8人)

会 長 船木茂(船川港)
副会長 船木博(船越)
幹事長 吉田清孝(船越)

船木茂(船川港)
船木博(船越)
吉田清孝(船越)
三浦悦朗(船川港)
笹川圭光(男鹿中)
越後貞勝(船川港)
中田俊雄(船越)
畠山富勝(北浦)

誠 志 会 (6人)

会 長 高野寛志(船川港)
副会長 大森勝美(男鹿中)
幹事長 古仲清紀(北浦)

高桑國三(脇本)
相澤哲夫(北浦)
吉田孝一郎(脇本)

新 風 21 (2人)

会 長 柳 楽 芳 雄 (船川港)
幹事長 夏 井 清 勝 (船川港)

日 本 共 産 党 (2人)

会 長 佐 藤 巳 次 郎 (船川港)
幹事長 安 田 健 次 郎 (野 石)

新 政 会

杉 本 博 治 (五里合)

新 生 会

吉 田 清 美 (脇 本)

公 明 党

佐 藤 美 子 (船 越)

市 民 派 ク ラ ブ

三 浦 一 郎 (脇 本)

編 集 後 記

新男鹿市始動。三月二十二日、新男鹿市が発足し、四月四日に初議会が開かれました。議員三十七人が意を新たにし、その責任の重大性を感じています。

市民の世論を市政に反映させるためには各地区(町内・集落)からの声、意見が一番大切です。これまでも地域の特長を生かし、歴史文化を継承してきました。

例えば、新市となった払戸・渡部町内は死去してから百五十年目となる渡部斧松翁の開拓により誕生しました。その偉業は現代に引き継がれています。

初代市長が誕生し、三役も決まり、新しい歴史の一ページが開かれました。新市建設計画には自然・文化・食を大切にす観光交流都市づくり、なまはげの心を全国へ発信する目標を設定しました。六月定例会には市長の政策予算が提案されると思えます。目的達成のためにチェック機能を確立します。

大きな目標を持ち、市政の発展と市民の真の心の豊かさを築くためにみんなが知恵を出し合い、世論を市政に反映させ誇りと自信の持てる地域づくりのために一緒に頑張って頑張ります。